

学習指導要領	北園高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開、主要な内容を的確にとらえ、その論理性について分析、考察して批評することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論説や評論において、補足や反証などの関係や段落の構成を的確にとらえ、それぞれの働きや関係によってどのように論が展開されているか説明することができる。 ・小説において、全体の骨組みをとらえ、場面や人物の設定がその後の話の推移にどのように有機的に働いているかを把握し、適切に説明することができる。 ・構成や展開の仕方をたどりながら、書き手や文章中の人物のものの見方、感じ方、考え方などの主要な内容とその他とを区別し、論点を適切に説明することができる。 ・文章の構成や展開の工夫や、書き手の主張などを伝えるための筋道の通し方について分析、考察し、批評することができる。
<p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>文章を読んで、書き手の意図を理解したり、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえたりしながら、叙述や表現の優れた点を十分に感じ取り、深く味わうことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論説や評論において、書き手の主張や意図を、書き手の思考の進め方に着目しながら理解し、執筆動機に迫ることができる。 <p>森鷗外『舞姫』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人物像や心情の変化及びその過程について、書き手の意図を意識して的確に読み取り、説明することができる。 ・漢語や和語の美しさやリズム、叙述や表現の巧みさなどを感じ取り、的確に説明することができる。また、表現に即した朗読などを通して作品への理解を深めることができる。 ・類似のテーマの他の作品などを幅広く読書することができる。
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p>	<p>多種多様な文章の内容や表現の仕方について、その特色や価値を多角的な視点から評価しながら、自己の人間観、社会観、自然観などを確立することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、視点や評価の異なる文章と比較し、その特色や価値を多角的に論じることができる。 ・文章を読んで自分の考えを深め、人間観、社会観、自然観などの確立に結び付けることができる。

学習指導要領	北園高校 学カスタンダード
<p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p> <p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>目的や課題に応じて、適切に収集した情報の価値判断をし、分析、整理して作成した資料を効果的に用いて、論拠を示しながら、自分の考えを述べるができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や課題に応じて適切な方法を考え、事典、新聞、書籍やウェブページなどで調べたり、インタビューやアンケート調査をしたりするなど様々な方法を利用して、与えられた条件にふさわしい情報を収集することができる。 ・収集した情報を的確に理解して価値判断をし、自分の考えを効果的に表現するための資料を作成することができる。 ・作成した資料を活用して、自分の考えを、論拠を明確にししながら、目的や場にふさわしい効果的な方法で表現することができる。 <p>語句の意味、用法についての的確に理解し、文体の特色や表現技法、語句の使い方の工夫などに注意し、その効果を考えながら、自分の表現や推敲に活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な文章について、語句の意味・用法を的確に理解し、また効果的に用いることができる。 ・説明的文章に使用される語句のうち難解なもの（淘汰、詭弁、パラドックス、イデオロギーなど）の意味を正しく理解し、また、このうち頻出するものについては適切に用いることができる。 ・新聞の社説や新書などを正確に理解することができる。 ・比喩、反復、倒置、省略、対句などについて理解し、文章中の技法とその効果について説明するとともに、自らも適切に用いることができる。 ・文章を読んで、効果的な用語や引例、論の構成、展開の着実性や意外性など、良い点を指摘し、自分が表現したり推敲したりする時に用いることができる。